***神戸・北　野　と　真　珠***

唐沢　亘

1.神戸・北野町に約220の真珠加工業者

・六甲山系の緑の間接照明が真珠の選別に最適なことから北野に多く集まっている、のはご存知の通り。

・万一の盗難等を未然に防ぐ為、加工業者は外見が分かりにくいようにしている。

2.神戸は真珠加工品で世界の73％を供給

　・一時期加工技術が流出したが、それ以降門外不出とすることで優位性を維持している。

3.真珠の種類は大きく3種類

　・黒蝶（くろちょう）真珠

6割

　・白蝶（しろちょう）真珠

　・あこや真珠　　　　　　　　　　3割

4.真珠の原産地

　・ポリネシア、オーストラリア・・・

　　国内（1位：愛媛、2位：長崎、3位：三重）

５.顧客の多くは外国人

　・ひと昔前は、アメリカ人が主流だった。

　　現在は、中国人が約7割を占める。

６.外国客と街との関わり

　・戦後、外国客が好むコーヒーを出すお店として、北野の南側に「にしむら珈琲店」が出来た。夜に洋酒をふるまう店として、その南に「東門街」が生まれ、正面看板は外国客が来られる北野を向いている。

7.日本の重量単位が世界標準に（昭和32年）

　・真珠は重さで取引し、世界公式単位として、日本の“もんめ”（匁､momme､mom）を用いる〈1もんめ＝3.75ｇ＝5円硬貨の重さ〉。　なお、他の宝石類はカラットCｔを使用する〈5カラット＝1ｇ〉。

（2019.4　日本真珠輸出組合でお伺いしました）